

# 地元企業の景況 第61号

郡上市八幡町新町961番地  
八幡信用金庫  
総務・企画本部  
TEL (0575) 65 - 3407  
FAX (0575) 66 - 2252

## < 業況判断 >

### 今期業況大幅改善、来期も小幅ながら回復見通し

#### 今期(平成22年4~6月期)

1. 今期の業況判断D.I.は 44.5と前期(平成22年1月~3月期) 58.6に比べ14.1ポイントの改善。
2. 卸売業、建設業で悪化するも、農業、サービス業、不動産業、製造業、飲食業、小売業で改善。しかしながら、業況は引き続き厳しい状況にある。

#### 来期(平成22年7~9月期)

1. 来期の業況判断D.I.は 43.3と今期 44.5に比べ1.2ポイント小幅改善予想。
2. 不動産業、製造業で悪化するも、飲食業、建設業で横這い。サービス業、農業、小売業、卸売業で改善予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

業種	時期 前期 H22年 1~3月	今期 H22年 4~6月	来期 H22年 7~9月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30	特に好調 30 DI

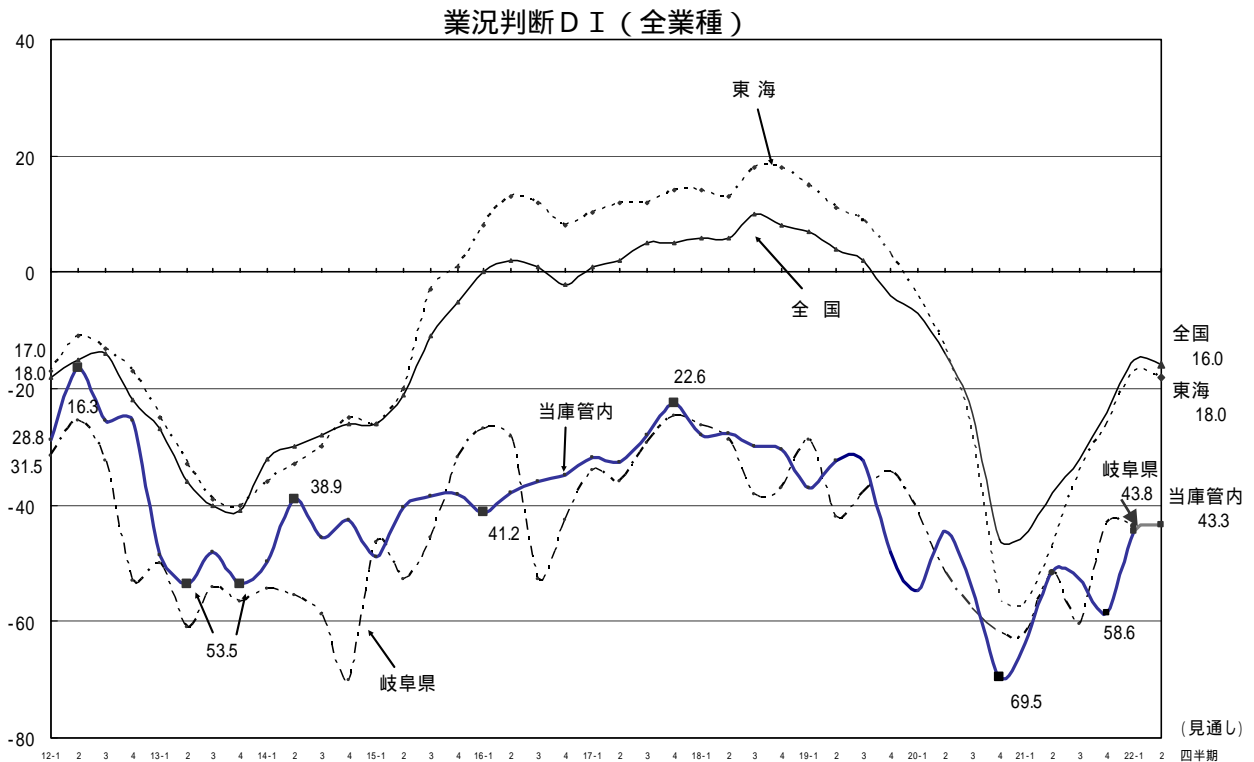
## 調査概要

調査目的	郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
調査対象	当金庫取引先 230先 (郡上市198社 下呂市18社 高山市・大野郡白川村14社)
調査時期	平成22年4月1日~6月30日
調査時点	平成22年6月30日時点
回収状況	配付数 230先(うち回収数166先) 回収率 72.2%
調査項目	(1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
補足調査 参考資料	製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較 有効求人倍率について
調査方法並び に注意事項	・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス) ・数値のほかグラフも掲載致しました。 ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。 ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

# 1. 業況判断

全業種の業況判断D.I.(良い-悪い)は、今期(平成22年4~6月期) 44.5と前期(平成22年1~3月期) 58.6に比べ14.1ポイント改善となり、リーマン・ショック直前のころ(平成20年7月~9月期は 44.6ポイント)の水準まで戻りました。業種別では、農業、サービス業、不動産業、製造業、飲食業、小売業で大幅改善となりました。なお、卸売業、建設業では悪化となりました。

来期(平成22年7~9月期)の業況判断見通しは、不動産業、製造業で悪化の見通しですが、飲食業、建設業で横這い、サービス業、農業、小売業、卸売業で改善の見通しとなっています。その結果、予想業況判断D.I.は 43.3と今期に比べ1.2ポイントの小幅改善予想となっています。



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜・多治見支店国民生活事業による。

## 業況判断

(%)

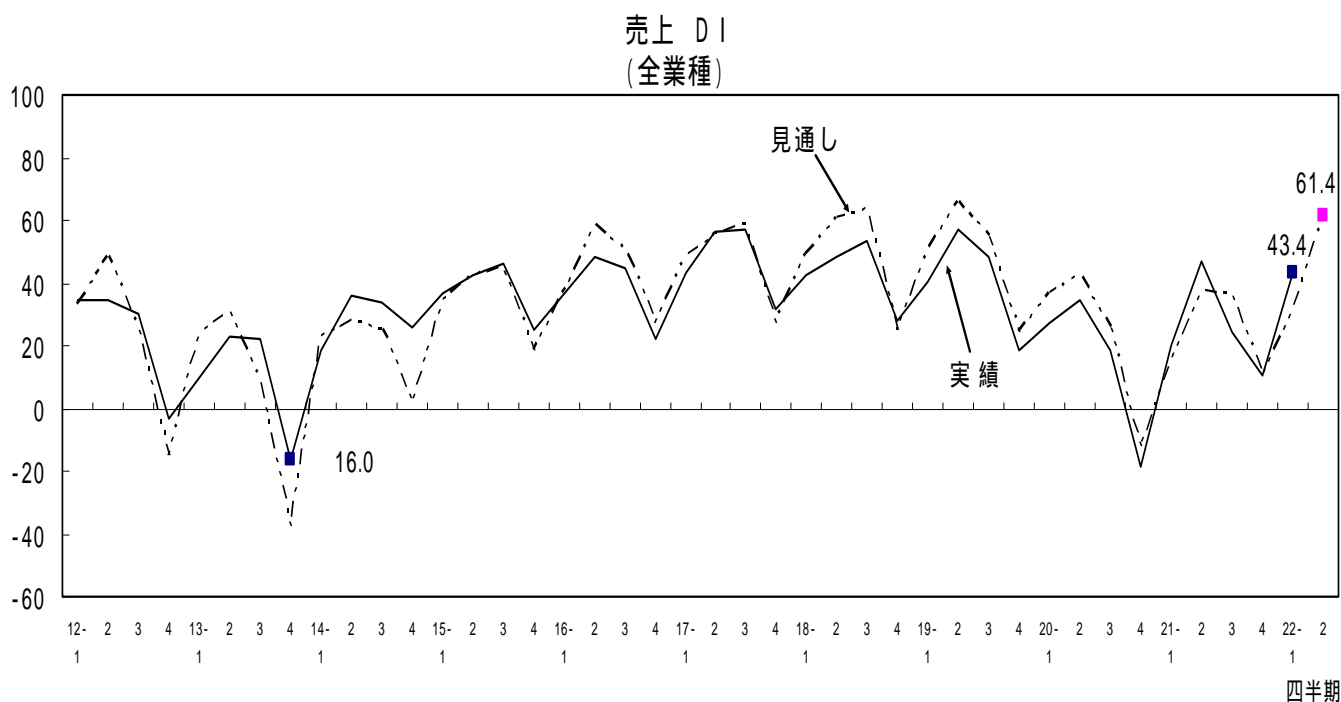
業種	H22年1月~3月(前期)				H22年4月~6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	8.2	30.6	61.2	53.0	23.9	26.1	50.0	26.1	15.2	26.1	58.7	43.5
卸売業	21.4	14.3	64.3	42.9	8.3	16.7	75.0	66.7	8.3	25.0	66.7	58.4
小売業	3.7	18.5	77.8	74.1	9.8	21.6	68.6	58.8	13.7	27.5	58.8	45.1
飲食業	0.0	14.3	85.7	85.7	0.0	30.0	70.0	70.0	0.0	30.0	70.0	70.0
サービス業	14.3	7.1	78.6	64.3	10.0	60.0	30.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0
建設業	19.2	26.9	53.8	34.6	11.1	29.6	59.3	48.2	14.8	22.2	63.0	48.2
不動産業	16.7	33.3	50.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	20.0
農業	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	60.0	40.0	40.0	40.0	0.0	60.0	20.0
全業種	9.8	21.8	68.4	58.6	12.7	30.1	57.2	44.5	13.9	28.9	57.2	43.3

## 2. 売上・受注

### (1) 売上

建設業を除く売上額判断D.I.(増加-減少)は、今期43.4と前期10.4に比べ33.0ポイント大幅改善となりました。業種別では、飲食業で142.8ポイントの大幅改善をはじめ、すべての業種で改善となりました。

来期の見通しは、不動産業、製造業で悪化の見通しですが、飲食業、農業で横這い、サービス業、卸売業、小売業で改善の見通しとなっており、その結果、予想売上額判断D.I.は61.4と今期より18.0ポイントの大幅改善予想となっています。



### 売上

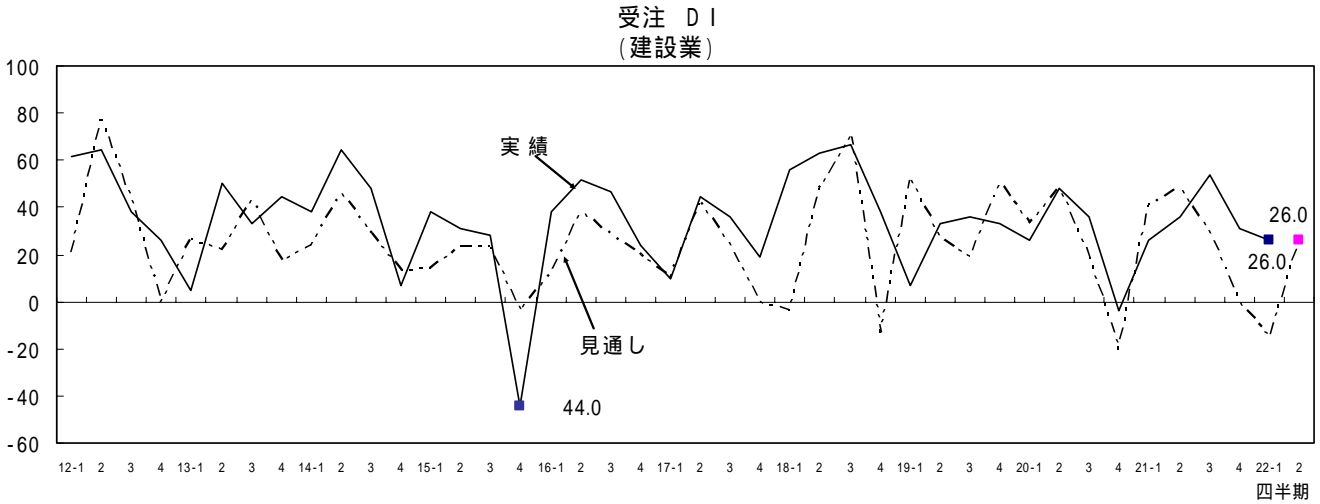
(%)

業種	H22年1月～3月(前期)			H22年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	51.0	49.0	2.0	73.9	26.1	47.8	69.6	30.4	39.2
卸売業	42.9	57.1	14.2	58.3	41.7	16.6	83.3	16.7	66.6
小売業	48.1	51.9	3.8	51.0	49.0	2.0	74.5	25.5	49.0
飲食業	28.6	71.4	42.8	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0
サービス業	28.6	71.4	42.8	60.0	40.0	20.0	90.0	10.0	80.0
不動産業	83.3	16.7	66.6	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	60.0
農業	50.0	50.0	0.0	80.0	20.0	60.0	80.0	20.0	60.0
全業種	55.2	44.8	10.4	71.7	28.3	43.4	80.7	19.3	61.4

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事12先）の受注高判断D.I.（増加-減少）は、今期26.0と前期30.8に比べ4.8ポイント悪化となりました。

来期の見通しは、土木工事が0.0ポイントと20.0ポイント改善の見通しですが、建築工事が41.2ポイントと11.8ポイント悪化の見通しとなっており、この結果、来期の予想受注高判断D.I.は今期と同ポイントの26.0の横這い予想となっています。



受注

(%)

業種	H22年1月～3月(前期)			H22年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業(受注)	65.4	34.6	30.8	63.0	37.0	26.0	63.0	37.0	26.0

受注(業種別)

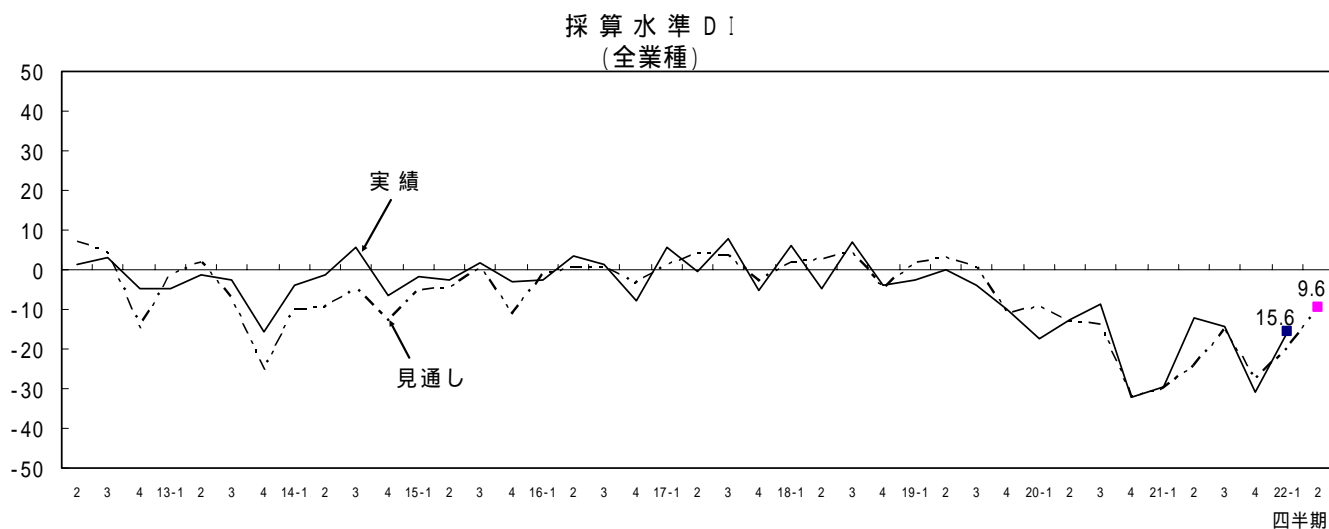
(%)

業種(大別)	H22年1月～3月(前期)			H22年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
土木工事	75.0	25.0	50.0	40.0	60.0	20.0	50.0	50.0	0.0
建築工事	57.1	42.9	14.2	76.5	23.5	53.0	70.6	29.4	41.2

### 3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.(黒字-赤字)は、今期 15.6と前期 31.0に比べ15.4ポイント改善となりました。業種別では、不動産業で悪化となったものの、卸売業で横這い、農業、製造業、サービス業、飲食業、小売業、建設業で改善となりました。

来期の見通しは、建設業、製造業で悪化、不動産業、農業で横這いとなっていますが、サービス業、卸売業、飲食業、小売業で改善する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は 9.6と今期より6.0ポイントの改善予想となっています。



採算水準

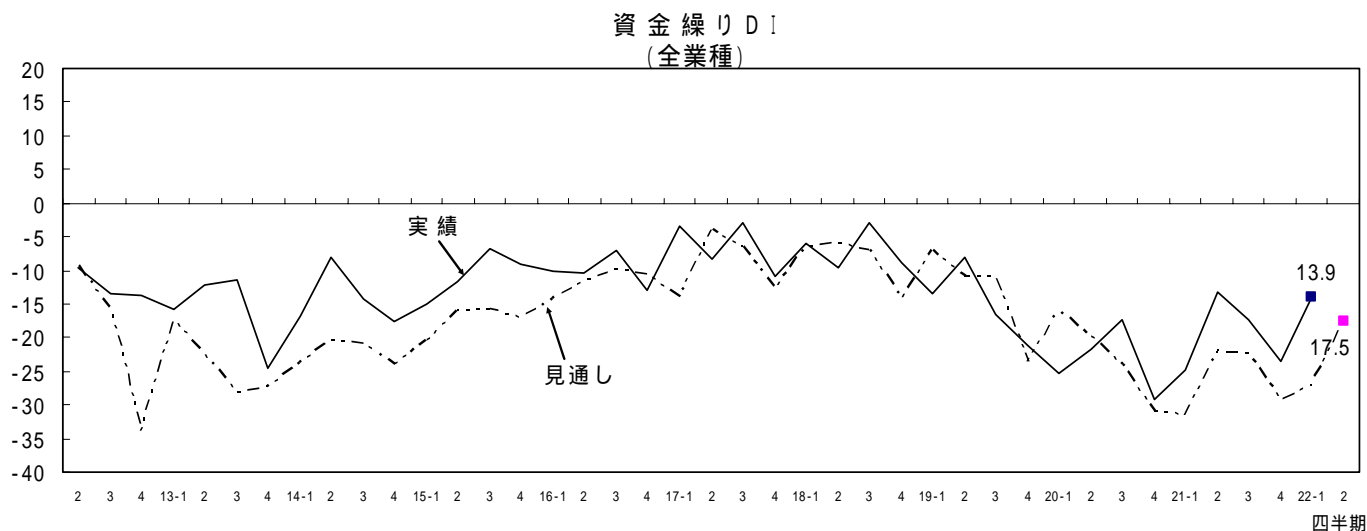
(%)

業種	H22年1月～3月(前期)				H22年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I
製造業	8.2	53.1	38.8	30.6	26.1	50.0	23.9	2.2	26.1	47.8	26.1	0.0
卸売業	7.1	35.7	57.1	50.0	8.3	33.3	58.3	50.0	8.3	50.0	41.7	33.4
小売業	13.0	46.3	40.7	27.7	13.7	51.0	35.3	21.6	15.7	54.9	29.4	13.7
飲食業	0.0	42.9	57.1	57.1	0.0	70.0	30.0	30.0	0.0	80.0	20.0	20.0
サービス業	14.3	28.6	57.1	42.8	20.0	50.0	30.0	10.0	50.0	50.0	0.0	50.0
建設業	19.2	46.2	34.6	15.4	11.1	63.0	25.9	14.8	11.1	55.6	33.3	22.2
不動産業	16.7	83.3	0.0	16.7	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
農業	0.0	0.0	100.0	100.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0
全業種	11.5	46.0	42.5	31.0	16.3	51.8	31.9	15.6	18.7	53.0	28.3	9.6

## 4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.(好転-悪化)は、今期 13.9と前期 23.6に比べ9.7ポイントの改善となりました。業種別では、農業、サービス業で悪化となりましたが、不動産業で横這い、飲食業、製造業、建設業、小売業、卸売業で改善となりました。

来期の見通しは、サービス業、卸売業、飲食業で改善の見通しですが、不動産業、農業で横這い、建設業、小売業、製造業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想資金繰り判断D.I.は 17.5と今期より3.6ポイントの悪化予想となっています。



資金繰り

(%)

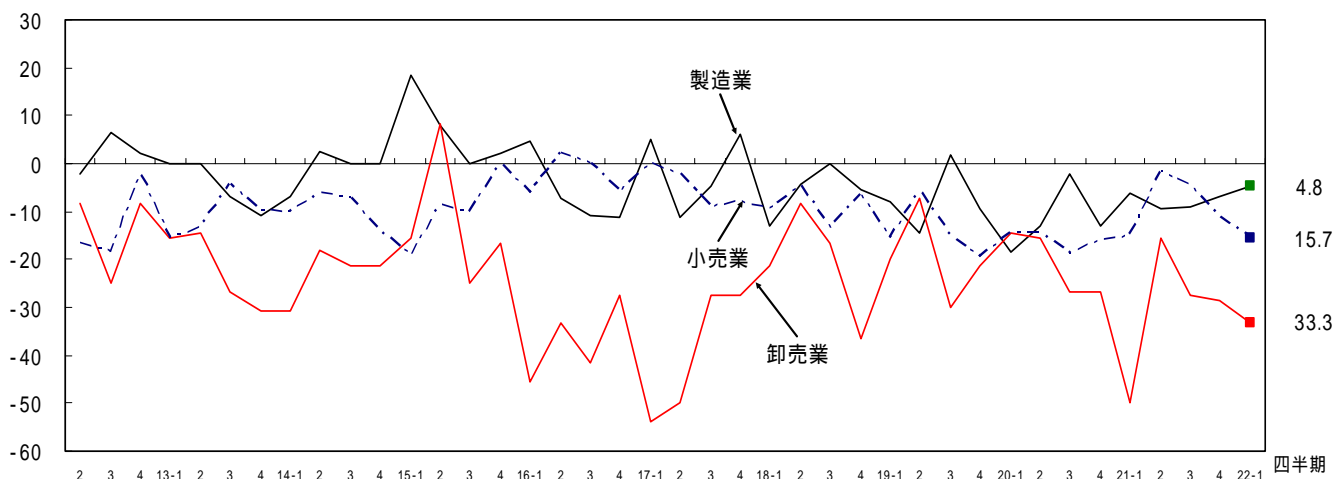
業種	H22年1月～3月(前期)				H22年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製造業	6.1	65.3	28.6	22.5	10.9	73.9	15.2	4.3	13.0	63.0	23.9	10.9
卸売業	0.0	64.3	35.7	35.7	8.3	50.0	41.7	33.4	8.3	66.7	25.0	16.7
小売業	7.4	68.5	24.1	16.7	9.8	70.6	19.6	9.8	5.9	68.6	25.5	19.6
飲食業	0.0	42.9	57.1	57.1	0.0	70.0	30.0	30.0	0.0	80.0	20.0	20.0
サービス業	0.0	64.3	35.7	35.7	0.0	60.0	40.0	40.0	20.0	80.0	0.0	20.0
建設業	7.7	61.5	30.8	23.1	14.8	59.3	25.9	11.1	3.7	55.6	40.7	37.0
不動産業	16.7	66.7	16.7	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
農業	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	60.0	40.0	40.0	0.0	60.0	40.0	40.0
全業種	5.7	64.9	29.3	23.6	9.6	66.9	23.5	13.9	8.4	65.7	25.9	17.5

## 5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D.I.（不足 - 過大）は、製造業で 4.8と1.9ポイント改善、卸売業で 33.3と4.7ポイント、小売業で 15.7と4.6ポイントそれぞれ悪化となりました。

製造業は不足感と過大感がそれぞれ上昇し、適正感が減少しました。卸売業、小売業は不足感と過大感がそれぞれ減少し、適正感が上昇しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	H22年1月～3月(前期)				H22年4月～6月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	4.4	84.4	11.1	6.7	9.8	75.6	14.6	4.8
卸売業	14.3	42.9	42.9	28.6	0.0	66.7	33.3	33.3
小売業	14.8	59.3	25.9	11.1	7.8	68.6	23.5	15.7

## 6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は22.3%と前期に比べ3.9ポイント増加しました。

今期の投資目的としては、「機械・設備の更改」が10件と最も多く、続いて「車輛」が9件、「事業用土地・建物」が8件、「機械・設備の新・増設」が5件、「事務機器」が3件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は18.1%と今期より4.2ポイント低下する見込みです。

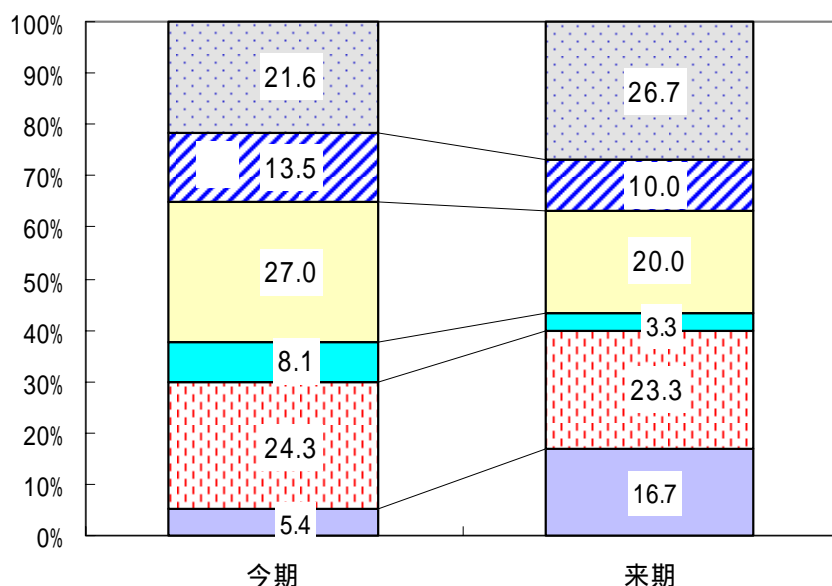
設備投資

(%)

業種	H22年1月～3月(前期)		H22年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	26.5	73.5	21.7	78.3	17.4	82.6
卸売業	7.1	92.9	25.0	75.0	8.3	91.7
小売業	13.0	87.0	19.6	80.4	11.8	88.2
飲食業	0.0	100.0	10.0	90.0	10.0	90.0
サービス業	7.1	92.9	30.0	70.0	60.0	40.0
建設業	23.1	76.9	22.2	77.8	18.5	81.5
不動産業	50.0	50.0	40.0	60.0	40.0	60.0
農業	25.0	75.0	40.0	60.0	20.0	80.0
全業種	18.4	81.6	22.3	77.7	18.1	81.9

投資目的

区分	H22年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	8	21.6	8	26.7
機械・設備の新・増設	5	13.5	3	10.0
機械・設備の更改	10	27.0	6	20.0
事務機器	3	8.1	1	3.3
車輛	9	24.3	7	23.3
その他	2	5.4	5	16.7
合計	37	100.0	30	100.0



## 7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」を指摘する回答割合が56.0%と最も多く、次に「利幅の縮小」が17.5%、「その他」8.4%、「販売競争激化」7.2%、「設備・店舗の狭小・老朽化」3.6%と続き、景気見通しは依然厳しい業況を示しています。

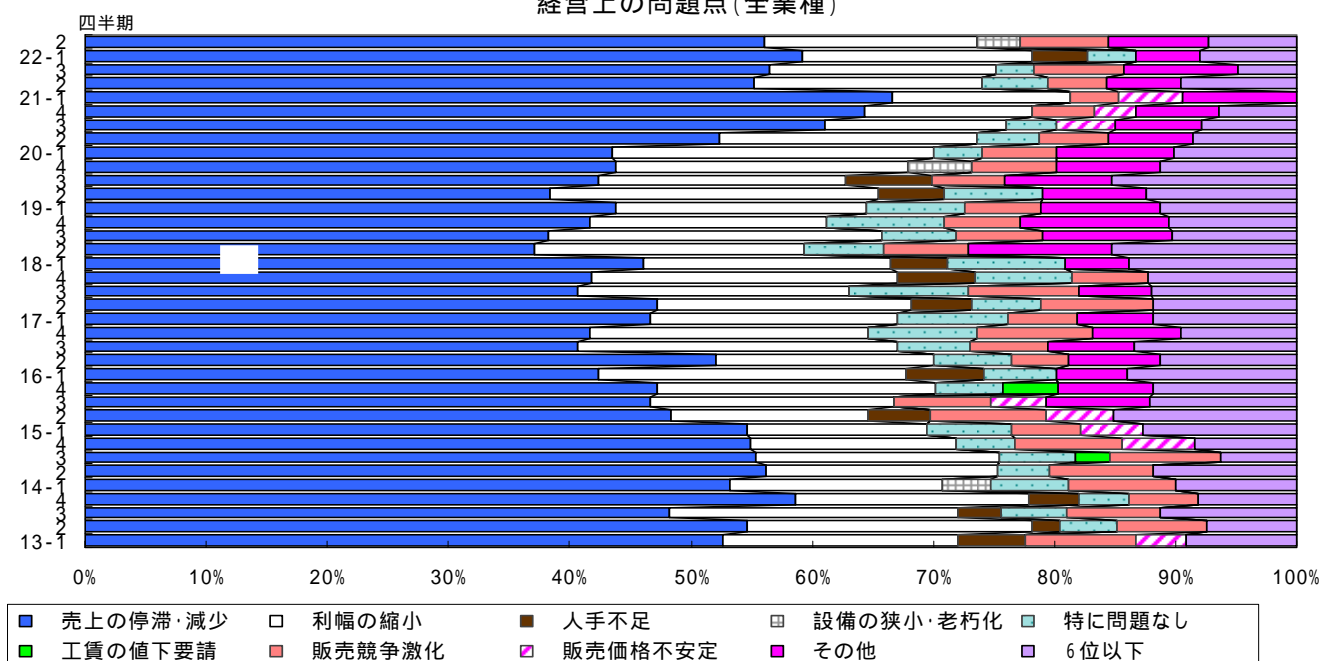
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上（受注）の停滞・減少」は56.0%（前期より3.2ポイント減少）と全業種で1位、また2位の「利幅の縮小」は17.5%（前期より1.5ポイント減少）と全業種で2位となっており、いずれも依然深刻な問題となっています。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 47.8	利幅の縮小 13.0	設備狭小・老朽化 8.7	販売競争激化 8.7	問題なし 8.7
卸売業	売上の停滞・減少 83.3	利幅の縮小 16.7			
小売業	売上の停滞・減少 58.8	利幅の縮小 25.5	販売競争激化 11.8	人手不足 2.0	販売価格の不安定 2.0
飲食業	売上の停滞・減少 70.0	その他 20.0	問題なし 10.0		
サービス業	売上の停滞・減少 50.0	その他 20.0	利幅の縮小 10.0	設備狭小・老朽化 10.0	販売競争激化 10.0
建設業	売上の停滞・減少 59.3	利幅の縮小 22.2	その他 18.5		
不動産業	その他 40.0	売上の停滞・減少 20.0	設備狭小・老朽化 20.0	販売競争激化 20.0	
農業	売上の停滞・減少 40.0	利幅の縮小 20.0	販売価格の不安定 20.0	その他 20.0	
全業種	売上の停滞・減少 56.0	利幅の縮小 17.5	その他 8.4	販売競争激化 7.2	設備狭小・老朽化 3.6

経営上の問題点(全業種)



区分	19-1	2	3	4	20-1	2	3	4	21-1	2	3	4	22-1
売上の停滞・減少	43.8	38.4	42.3	43.9	43.5	52.0	61.1	64.4	62.1	55.2	56.5	59.2	56.0
利幅の縮小	20.6	27.0	20.3	24.1	26.6	21.1	15.0	13.8	13.7	18.8	18.6	19.0	17.5
その他	9.8	8.6	8.8	8.6	9.6	6.9	7.2	6.9	8.8	6.1	9.3	5.2	8.4
販売競争激化	6.2	-	6.0	7.0	6.2	5.7	-	5.2	3.8	4.8	7.5	-	7.2
設備の狭小・老朽化	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6
特に問題なし	-	-	-	-	4.0	5.1	4.2	-	-	5.5	3.1	4.0	-
人手不足	-	5.4	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-
販売価格の不安定	8.2	8.1	-	-	-	-	4.8	3.4	4.9	-	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」は6位以下を示しています。

## 8 . 業況の回復時期

業況の回復時期は、「平成22年7～9月」、「平成22年10～12月」、「平成23年10月以降」が4.8%と最も多く、次いで「平成23年1月～3月以降」、「平成23年4月～9月以降」が3.0%、「すでに回復」が2.4%となっております。

しかしながら「わからない」との回答が77.1%と最も多くを占め、依然景気の不透明感が非常に強いという結果となっております。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答 企業数	すでに 回復	平成22年		平成23年			わからない
			7～9月	10～12月	1月～3月	4月～9月	10月以降	
製造業	46	8.7	4.3	6.5	2.2	0.0	4.3	73.9
卸売業	12	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	75.0
小売業	51	0.0	5.9	5.9	3.9	3.9	9.8	70.6
飲食業	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サービス業	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	90.0
建設業	27	0.0	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	85.2
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
農業	5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0
全業種	166	2.4	4.8	4.8	3.0	3.0	4.8	77.1

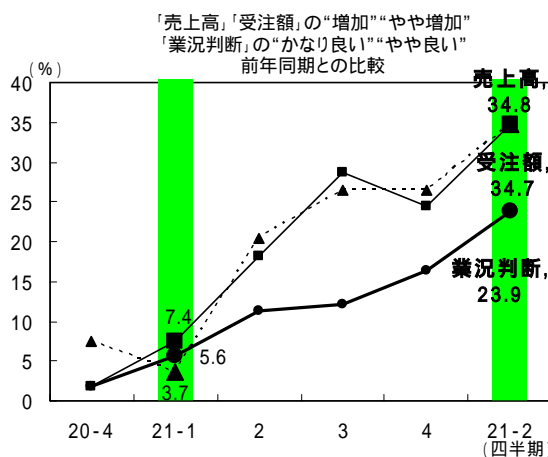
## 補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第4四半期)との比較調査を毎期実施しております。

### <製造業>

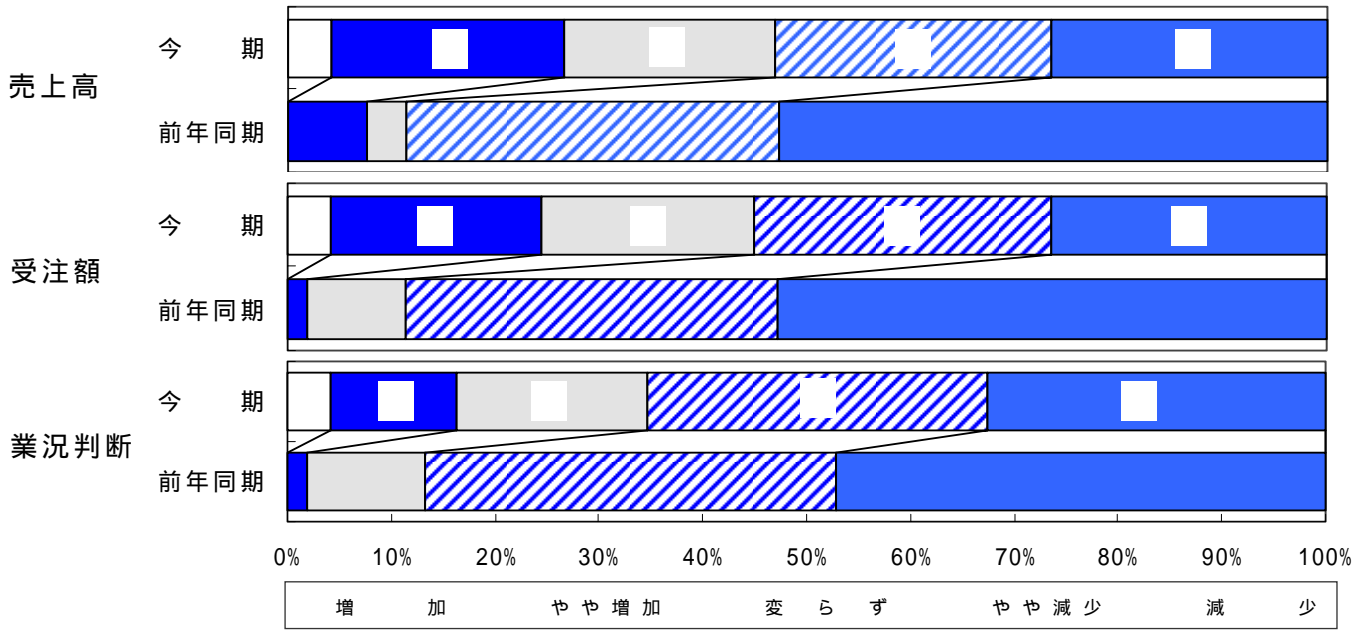
製造業の「売上高」では、前年同期(回答数54先)は“増加”“やや増加”の回答が3.7%(2先)に対し、今期(回答数46先)は34.8%(16先)と31.1ポイント増加、「受注額」では同様7.4%(4先)に対し、34.7%(16先)と27.3ポイント増加となっております。「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が5.6%(3先)に対して、今期は23.9%(11先)と18.3ポイント増加となっております。

製造業は「売上高」「受注額」「業況判断」がそれぞれ前年同期より改善しています。



(先、%)

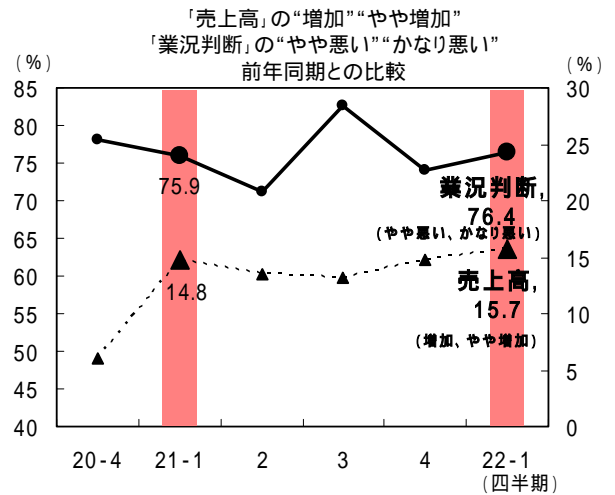
区分	売上高		受注額		区分	業況判断	
	21年4～6月	22年4～6月	21年4～6月	22年4～6月		21年4～6月	22年4～6月
増加	0	0.0	7	15.2	かなり良い	0	0.0
やや増加	2	3.7	9	19.6	やや良い	3	5.6
変らず	14	25.9	13	28.3	良くも悪くもない	6	11.1
やや減少	12	22.2	8	17.4	やや悪い	21	38.9
減少	26	48.1	9	19.6	かなり悪い	24	44.4
合計	54	100.0	46	100.0	合計	54	100.0



< 小売業 >

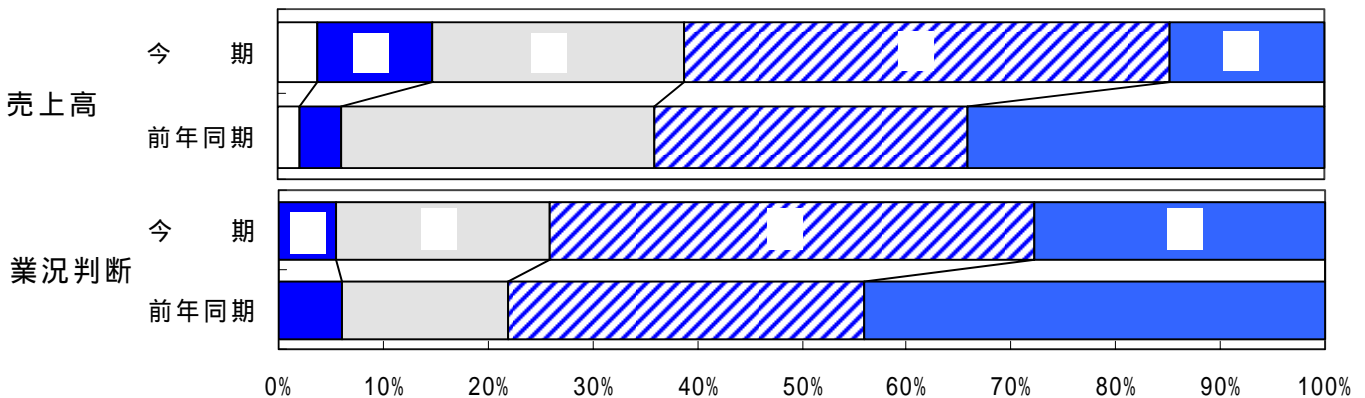
小売業の「売上高」では前年同期（回答数54先）は“増加”“やや増加”の割合が14.8%（8先）であったのに対し、今期（回答数51先）は15.7%（8先）と0.9ポイント増加となっています。

「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が75.9%（41先）であったのに対し、今期は76.4%（39先）と前年同期に比べ0.5ポイント増加しており、依然として、地域内における個人消費の停滞感がうかがえる結果となっています。



(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	21年4~6月		22年4~6月			21年4~6月		22年4~6月	
増加	2	3.7	1	2.0	かなり良い	0	0.0	0	0.0
やや増加	6	11.1	7	13.7	やや良い	4	7.4	3	5.9
変わらず	9	16.7	12	23.5	良くも悪くもない	9	16.7	9	17.6
やや減少	24	44.4	27	52.9	やや悪い	27	50.0	30	58.8
減少	13	24.1	4	7.8	かなり悪い	14	25.9	9	17.6
合計	54	100.0	51	100.0	合計	54	100.0	51	100.0



## 有効求人倍率について

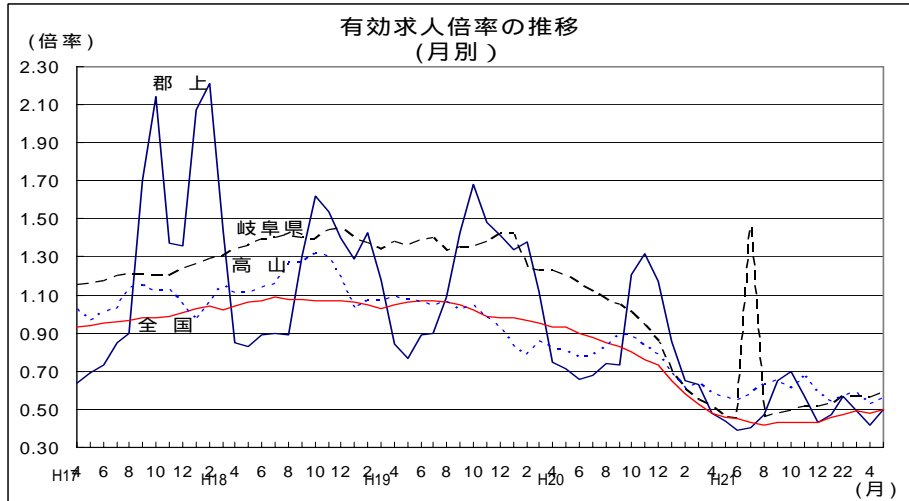
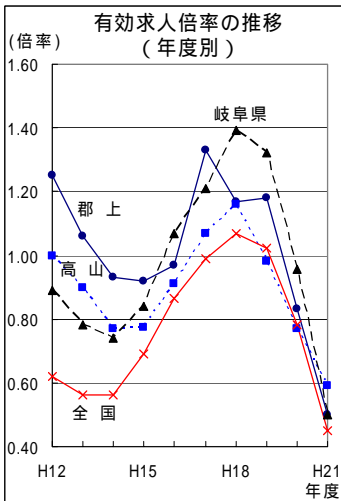
関公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の平成22年5月の有効求人倍率は、0.50倍で前月比0.08ポイント増加、前年同月比で0.06ポイント増加となりました。新規求人数は174人、前年同月比39人増となりました。高山管内の平成22年5月の同倍率は0.56倍で、前月比0.03ポイント増加、前年同月比では変わらずとなりました。新規求人数は727人、前年同月比81人減となりました。

また、全国および岐阜県の平成22年5月の有効求人倍率は、全国が前月比0.02ポイント上昇の0.50倍、岐阜県は前月比0.03ポイント上昇の0.59倍となりました。

(資料提供:関公共職業安定所岐阜八幡出張所、高山公共職業安定所)

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
郡上	1.25	1.06	0.93	0.92	0.97	1.33	1.17	1.18	0.83	0.50
高山	1.00	0.90	0.77	0.77	0.91	1.07	1.16	0.98	0.77	0.59
岐阜県	0.89	0.78	0.74	0.84	1.07	1.21	1.39	1.32	0.96	0.50
全国	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.99	1.07	1.02	0.78	0.45

有効求人倍率

区分	20.4	5	6	7	8	9	10	11	12	21.1	2	3
郡上	0.75	0.71	0.66	0.68	0.74	0.73	1.21	1.32	1.17	0.86	0.65	0.63
高山	0.82	0.81	0.77	0.78	0.83	0.89	0.89	0.83	0.79	0.69	0.61	0.64
岐阜県	1.22	1.19	1.15	1.13	1.09	1.07	1.03	0.96	0.86	0.72	0.60	0.54
全国	0.93	0.92	0.91	0.89	0.86	0.84	0.80	0.76	0.73	0.67	0.59	0.52

区分	21.4	5	6	7	8	9	10	11	12	22.1	2	3
郡上	0.48	0.44	0.39	0.40	0.47	0.65	0.70	0.57	0.43	0.47	0.57	0.49
高山	0.58	0.56	0.55	0.58	0.63	0.65	0.61	0.67	0.58	0.54	0.57	0.59
岐阜県	0.50	0.45	0.44	0.45	0.45	0.49	0.50	0.53	0.53	0.53	0.57	0.57
全国	0.46	0.44	0.43	0.42	0.42	0.43	0.44	0.45	0.46	0.46	0.47	0.49

区分	22.4	5
郡上	0.42	0.50
高山	0.53	0.56
岐阜県	0.56	0.59
全国	0.48	0.50